

「住み慣れた家で、地域で、最期まで暮らしたい」
その思いを家族は、医療や介護の専門家は、どのように支援することが出来るでしょうか？実際にご家族を看取られた経験をお話頂きながら、地域で支える仕組みづくりを考えます。

日時：2016年 3月 15日（火）

18：30～20：30 ※18：15開場

会場：牛込筆筈区民ホール

- ・大江戸線「牛込神楽坂」A1 出口より徒歩0分
- ・東西線「神楽坂」2番出口より徒歩10分

参加費：無料

事前申込み不要



□ 基調講演

「住み慣れた地域で最期まで暮らし続けるために
～看取りを支える在宅医療について～」

- ・ 鶴岡 浩樹(新宿区在宅療養専門部会 委員長・
日本社会事業大学 教授・つるかめ診療所 副所長)

□ パネルディスカッション

- ・ 在宅で看取りを経験されたご家族
- ・ 諸富 伸夫(ゆみのハートクリニック 医師)
- ・ 渡辺 恵都子(ゆみのハートクリニック 理学療法士)
- ・ 北舘 敦(セントケアリフォーム新宿 福祉用具・住宅改修 所長)
- ・ 澤口 美智子(東電さわやかケア神楽坂 サービス提供責任者)
- ・ 望月 葉子(白十字訪問看護ステーション 看護師)

コーディネーター 秋山 正子

(白十字訪問看護ステーション統括所長・暮らしの保健室室長・
NPO 白十字在宅ボランティアの会理事長)

お問い合わせ

NPO 法人 白十字在宅ボランティアの会 (担当：加藤)

TEL/FAX 03 (5935) 7708 メール hakujuji@coast.ocn.ne.jp

主催：白十字訪問看護ステーション・NPO 白十字在宅ボランティアの会
後援：新宿区

「この町で健やかに暮らして安心して逝くために」